

## キャリアアップガイド〔畜産職〕

職 種	畜産
職務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 畜産振興・畜産物流通・畜産環境保全対策</li> <li>・ 飼料安全対策（飼料・飼料添加物の製造・輸入・販売業の届出受理）</li> <li>・ 畜産技術の普及・指導、畜産経営の指導</li> <li>・ 種畜の増殖・育成・能力の検定、飼料作物生産等</li> <li>・ 畜産に関する試験研究、後継者の育成</li> </ul>
主な配属先	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業水産局本庁</li> <li>・ 農林水産事務所、畜産総合センター、畜産総合センター段戸山牧場、畜産総合センター種鶏場、家畜保健衛生所、農業大学校、農業総合試験場</li> </ul>
め ざ す 職 員 像	畜産職として、高い専門知識・技術・技能と高度な企画・調整能力を合わせ持ち、総合的な視点から判断し行動することができる職員
<p>＜育成の考え方＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の適性に留意しながら、本庁と地方機関を経験するローテーションによる人事配置を行い、実務経験を通じて、畜産職として不可欠な専門知識と技術力の修得及びその向上を図るとともに、高い専門性と企画・調整・指導力を備えた技術者の育成を図る。</li> <li>・ 家畜の生産性向上に係る飼養管理、家畜の改良増殖、飼料作物栽培等に関する技術・技能、並びに畜産農家の経営指導力、さらに家畜改良増殖法をはじめとする関係法令や畜産物の流通・消費に係る基礎的な知識を習得するため、業務研修の受講機会を確保する。</li> <li>・ 普及・指導業務に必要となる農業普及指導員資格の取得を強く推奨する。</li> </ul> <p>＜主な職務内容別の方針＞</p> <p>〔畜産振興・畜産物流通・畜産環境保全対策など〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本庁と地方機関を経験させ、実務経験を通じて、畜産の専門知識・技術・技能、並びに地域の課題や家畜毎の課題に適切に対応できる企画・調整・指導力を兼ね備えた職員の育成を図る。</li> </ul> <p>〔畜産技術の普及、畜産農家指導など〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方機関を経験させ、地域や畜産農家の課題を分析し、適切に指導対応できる技術・技能・指導力を兼ね備えた職員の育成を図る。</li> </ul> <p>〔種畜の増殖・育成・能力の検定、飼料作物生産など〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 畜産現場を経験させて、先進的な家畜の飼養管理技術、飼料作物生産技術などの高度な技術・技能を身に付けさせ、畜産農家を実務面から指導することができ、かつ畜産現場における課題を行政施策へ反映することができる職員の育成を図る。</li> </ul> <p>〔研究〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業総合試験場で一定期間研究に従事させることにより、高い専門性と高度な技術を持った研究員の育成を図る。</li> <li>・ 技術の普及指導や行政が直面する課題に対する試験研究に取り組むため、職員の適性に留意しながら、本庁や農林水産事務所を経験させる人事配置を行う。</li> </ul> <p>〔教育〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業大学校において、畜産業に従事する人材を育成するため、知識・技術・技能・指導力を有して畜産教育を行うことができる職員の育成を図る。</li> </ul>	

《キャリアイメージ》

区 分	畜 産		畜 産	
	異 動 ・ 配 属 の 考 え 方	必要とされる知識・能力	取得が望ましい資格等	受講すべき研修等
新規採用	<div>基礎的な技術・知識の習得や適切な指導を受けることに適した所属に配属する。</div> <div>【本庁】 農業水産局畜産課</div> <div>【地方機関】 農林水産事務所、畜産総合センター、同段戸山牧場、同種鶏場、家畜保健衛生所、農業大学校、農業総合試験場</div>	【採用3年目まで】 ・畜産職員としての基礎固め ・畜産関係法令の基礎知識 ・各種畜産振興計画の概要理解 ・家畜の飼養管理技術、畜産農家経営指導等の基礎知識		【農林水産部門研修】 ・新任農林水産部門職員研修  【畜産関係職員技術研修】 ・牛飼養管理研修 ・豚飼養管理研修 ・鶏飼養管理研修  【中央畜産技術研修】 ・技術者養成基礎研修（畜種別） ・畜産行政研修 ・畜産新技術研修 ・畜産環境保全研修（堆肥・汚水・臭気） ・食肉流通研修 【教育】 ・指導職員研修
技師・主任 （採用後8年間）		【採用8年目まで】 ・地域または県における畜産情勢把握、課題設定及び畜産振興施策の企画立案能力 ・先進的かつ高度な専門知識・技術・技能の修得 ・新技術、経営改善など普及指導に必要な専門知識・指導力		
主任級 （9年目以降）	<div>基礎的な技術・知識を習得するとともに適性を見出すため、下記の内容を経験できるように計画的に異動を行う。</div> <div>① 2ヶ所の所属を経験する。</div> <div>② 地方機関については、可能な限り、普及指導員普及資格を取得できる所属（農業改良普及課、農業大学校、農業総合試験場、畜産総合センター）を経験する。</div> <div>【本 庁】 ・農業水産局畜産課</div> <div>【地方機関】 ・農林水産事務所、畜産総合センター、家畜保健衛生所、農業大学校、農業総合試験場</div>	【採用9年目以降主査級昇任まで】 ・幅広い職務経験 ・実務の中心的役割を担うために必要な知識・能力 ・指導力及びリーダーシップ		
主査級	<div>職務分野の偏りが無いように幅広い職務経験を積み重ね、適性を見出すとともに、実務の中心的役割を担う職員を目指す。</div> <div>畜産振興、流通、環境対策の推進 ↔ 畜産技術の普及、農家指導 ↔ 種畜の増殖・育成、検定、飼料生産 ↔ 試験研究 ↔ 教育</div> <div>課題を設定し自ら取り組むことにより、畜産職としての能力・資質に磨きをかけ、後輩の指導・育成とともに、実務の中心的役割を担う職員をめざす。</div> <div>○本庁と地方機関を経験 ○実務経験・研修を通じ畜産の専門知識・技術・技能を修得 ○地域の課題に適切に対応できる企画・調整・指導能力・情報発信能力を修得</div> <div>○地方機関を経験 ○地域の優良事例に接し、専門知識・技術・技能を修得 ○生産者団体・畜産農家の指導能力を修得</div> <div>○地方機関において畜産現場を経験 ○家畜飼養管理・飼料生産などの高度な専門知識・技術・技能を修得</div> <div>○可能な限り農業総合試験場で長期に研究に従事 ○より高度な専門知識・技術・技能を修得 ○職員の適性に留意しながら、本庁や地方機関を経験</div> <div>○農業大学校において畜産業に従事する人材を育成するため、学生に対し畜産に関する教育業務に従事</div> <div>畜産職として、高い専門知識・技術・技能と高度な企画・調整能力を持ち、総合的な視点から判断し行動することができる</div>	・県民、関係機関、業者等に対する説明、折衝、調整力 ・許認可申請者に対する適切な指導力		【自治研修所研修】 ・主査級研修 【中央畜産技術研修】 ・技術者養成専門研修（畜種別）
課長補佐級		・県民、関係機関、業者等に対する説明、折衝、調整力 ・畜産に関する技術面での専門知識		【自治研修所研修】 ・課長補佐級研修
課長補佐 （グループ班長）	グループ班長として、専門分野のリーダーとしての役割を担って業務推進するとともに、人材育成など組織マネジメントを行う。	・災害発生等緊急時における対応力 ・「食と緑の基本計画」等の県が策定する計画における企画力		
備考 （その他関連措置）				